

生産事業所の環境データ（サイトデータ）

筑波事業所（開発技術センター含む）

集計範囲：開発技術センターを含めた筑波事業所内を対象にしています。なお、2005年にはリサイクルセンター及び開発の一部門が霞ヶ浦事業所に移転しています。

事業所概要 所在地 茨城県稲敷郡阿見町大字福田字谷の沢127-7
 操業開始 1981年（昭和56年）10月
 敷地面積 97,000m²（東京ドーム2ヶ分に相当）
 建物延床面積 27,000m²
 従業員数 353人（2006年3月末現在）



主な生産品目 事務用デジタル印刷機「リソグラフ」ならびに関連周辺機器

特定施設の届出状況 ・大気汚染防止法のばい煙発生施設（ボイラー） ・振動防止法の特定施設：液圧プレス、機械プレス、空気圧縮機、せん断機、丸のこ盤
 ・霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例の特定施設：浄化槽 ・騒音防止法の特定施設：合成樹脂射出成形機

主な環境保全活動 ・ISO14001:2004にて2005年12月更新 ・省エネ活動
 ・RoHS指令対応など環境配慮設計活動 ・使用済みインクボトルのリサイクル
 ・グリーン調達の実施 ・グリーン購入の推進
 ・産業廃棄物の埋立て処分量の削減

環境関連データ ・電力使用量：309万kWh【2004年度比4%増】
 ・廃棄物総排出量：819t【2004年度比1%増】
 ・最終処分量（埋立量）：1.2t【2004年度比91%減】
 ・産業廃棄物の再資源化率：99.5%
 ・水使用量：15,750m³（上水のみ）【2004年度比13%増】
 ・排水量：15,750m³【2004年度比13%増】
 ・BOD年間排出量：25.2kg/年（平均濃度×年間排水量で算出）
 ・窒素年間排出量：156kg/年
 ・リン年間排出量：12.6kg/年

主な環境負荷データ

排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	最小値	平均値
水素イオン濃度	pH	6.0～8.2	6.11～8.09	7.7	7.2	7.4
化学的酸素要求量(COD)	mg/ℓ	10.0	9.0	8	—	7
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	10.0	9.0	3	—	1.6
浮遊物質量	mg/ℓ	15.0	13.5	3	—	1.5
Nヘキサン抽出物含有量(鉱油類)	mg/ℓ	3.0	2.7	1	—	1
Nヘキサン抽出物含有量(動植物油脂類)	mg/ℓ	5.0	4.5	1	—	1
窒素含有量	mg/ℓ	15.0	13.5	12	—	9.9
リン含有量	mg/ℓ	2.0	1.8	1	—	0.8

筑波事業所の排水は、公共水域に排出しています。規制値は、水質汚濁防止法、霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例、阿見町との公害防止協定によるものです。

大気への排出

物質名	単位	規制値	自主基準設定値	測定値*
No.2ボイラー				
硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.05	0.945	0.02
窒素酸化物(NOx)	volppm	180	162	77
ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.27	0.016
No.3ボイラー				
硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.05	0.945	0.041
窒素酸化物(NOx)	volppm	180	162	84
ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.27	0.012

*ボイラーの稼働期間が年間4カ月程度であることから、測定が年1回のみであるため、最大値・平均値を記載していません。
 No.1ボイラーは撤去済みです。

生産事業所の環境データ(サイトデータ)

霞ヶ浦事業所

集計範囲：霞ヶ浦事業所内を対象にしています。なお、2005年にはリサイクルセンター及び開発の一部が霞ヶ浦事業所に転入しています

事業所概要 所在地 茨城県稲敷郡阿見町阿見282-2
 操業開始 1965年(昭和40年)8月
 敷地面積 28,265m²
 建物延床面積 16,821m²
 従業員数 95人(2006年3月末現在)



主な生産品目 事務用デジタル印刷機「リソグラフ」用カラーインク、
 インクジェットカラープリンター「オルフィス」用インク、
 家庭用簡易印刷機「プリントゴッコ」ならびに関連消耗品

特定施設の届出状況 ・大気汚染防止法のばい煙発生施設(ボイラー)
 ・騒音・振動防止法の特定施設:コンプレッサー(空気圧縮機)、シャーリングなどの工作機械

主な環境保全活動 ・消費電力量の削減
 ・使用済み印刷機本体のリサイクル活動
 ・グリーン購入の推進

環境関連データ ・電力使用量:197万kWh【2004年度比21%増】
 ・廃棄物総排出量:330t【2004年度比103%増】
 ・最終処分量(埋立量):25t【2004年度比47%増】
 ・産業廃棄物の再資源化率:39%
 ・水使用量:16,449m³(上水3,246m³、地下水13,203m³)【2004年度比1%減】
 ・排水量:8,213m³【2004年度比5%増】
 ・BOD年間排出量:131kg/年(平均濃度×年間排水量で算出)
 ・窒素年間排出量:130kg/年
 ・リン年間排出量:16kg/年

主な環境負荷データ

排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	最小値	平均値
水素イオン濃度	pH	5~9	—	7.5	6.9	7.2
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	600	—	36	—	15.9
浮遊物質	mg/ℓ	600	—	24	—	10.0
Nヘキサン抽出物含有量(鉱油類)	mg/ℓ	5	—	1未満	—	1未満
Nヘキサン抽出物含有量(動植物油脂類)	mg/ℓ	30	—	1未満	—	1未満
窒素含有量	mg/ℓ	60	—	27	—	15.8
リン含有量	mg/ℓ	10	—	2.6	—	2

霞ヶ浦事業所の排水は全て公共下水道へ排出しています。
 規制値は、霞ヶ浦流域の土浦市下水道条例によるものです。

大気への排出

	物質名	単位	規制値	自主基準設定値	測定値
009ボイラー (1号機)	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.1	0.99	0.03
	窒素酸化物(NOx)	ppm	180	162	75
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.27	0.01
010ボイラー (2号機)	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.1	0.99	0.03
	窒素酸化物(NOx)	ppm	180	162	75
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.27	0.01
007ボイラー (3号機)	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.1	0.99	0.03
	窒素酸化物(NOx)	ppm	180	162	99
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.27	0.02
008ボイラー (4号機)	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.1	0.99	0.03
	窒素酸化物(NOx)	ppm	180	162	110
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.27	0.01

宇部事業所

集計範囲：宇部事業所内を対象としています。

事業所概要 所在地 山口県宇部市瀬戸原工業団地 建物延床面積 15,598m²
 操業開始 1986年(昭和61年)6月 従業員数 83人
 敷地面積 75,871m² (2006年3月末現在)



主な生産品目 事務用デジタル印刷機「リソグラフ」用黒インクならびにマスター

特定施設の届出状況 ・大気汚染防止法のばい煙発生施設(ボイラー)

主な環境保全活動 ・ISO14001:2004にて2005年12月更新 ・電力使用量の削減
 ・RoHS指令対応など環境配慮設計活動 ・使用済みインクボトルのリサイクル
 ・廃棄物排出量の削減と再資源化の推進 ・グリーン購入の推進

環境関連データ ・電力使用量:320万kWh【2004年度比7%減】 ・水使用量:8,527m³(上水4,122m³、地下水4,405m³)【2004年度比13%減】
 ・廃棄物総排出量:235t【2004年度比11%増】 ・排水量:4,122m³【2004年度比17%減】
 ・最終処分量(埋立量):9t【2004年度比50%増】 ・BOD年間排出量:55kg/年(平均濃度×年間排水量で算出)
 ・産業廃棄物の再資源化率:77%

主な環境負荷データ

排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準 設定値	最大値	最小値	平均値
水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	5.8~8.6	7.7	5.9	7.0
化学的酸素要求量(COD)	mg/ℓ	160	112	32.0	—	22.3
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	160	112	20.0	—	13.3
浮遊物質	mg/ℓ	200	140	17.0	—	12.0

宇部事業所の排水は、公共水域に排出しています。
 規制値は、水質汚濁防止法及び山口県公害防止条例によるものです。

大気への排出

	物質名	単位	規制値	自主基準 設定値	最大値	平均値
1号機 ボイラー	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	0.7875	0.617	0.23	0.1495
	窒素酸化物(NOx)	ppm	180	165	89	84
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.05	0.0024	0.0022
2号機 ボイラー	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	0.7875	0.617	0.16	0.125
	窒素酸化物(NOx)	ppm	180	165	82	81.5
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.05	0.0026	0.00225
3号機 ボイラー	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	0.7875	0.617	0.23	0.165
	窒素酸化物(NOx)	ppm	180	165	91	87.5
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.05	0.0028	0.0025

若栗事業所

集計範囲：若栗事業所内を対象としています。

事業所概要 所在地 茨城県稲敷郡阿見町若栗西神田 敷地面積 6,710m²
 1339-2 建物延床面積 5,179m²
 設 立 1990年(平成2年)4月 従業員数 110人
 (2006年3月1日現在)



主な環境保全活動 ・RoHS指令対応など環境配慮設計活動 ・グリーン購入の推進
 ・省エネ活動 ・ゴミの分別処理の徹底

環境関連データ ・電力使用量:139万kWh【2004年度比1%減】 ・排水量:3,446m³
 ・廃棄物総排出量:13t【2004年度比15%減】 ・BOD年間排出量:644kg/年
 ・最終処分量(埋立量):埋立処分量を把握していません ・窒素年間排出量:63kg/年
 ・水使用量:3,446m³(上水のみ)【2004年度比13%増加】 ・リン年間排出量:3kg/年

主な環境負荷データ

排水の水質

測定項目	単位	規制値		最大値	最小値	平均値
水素イオン濃度	pH	5~9	—	8.8	7.3	8.2
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	600	—	250	—	187
浮遊物質	mg/ℓ	600	—	99	—	50
N ⁺ 抽出物含有量(鉱油類)	mg/ℓ	5	—	1	—	1
N ⁺ 抽出物含有量(動植物油脂類)	mg/ℓ	30	—	31	—	14.7
窒素含有量	mg/ℓ	60	—	32.4	—	18.3
リン含有量	mg/ℓ	10	—	1.8	—	1

若栗事業所の排水は全て公共下水道へ排水しています。
 規制値は「阿見町下水道条例」によるものです。
 2006年3月度の下水水質測定において、動植物油の基準値を1mg超過した測定値が記録されました。これは阿見町下水道条例を上回る数値であり、直ちに調査し、排水への流出防止対策を施しました。
 Nヘキサン抽出物含有量(動植物油脂類)は、2006年3月度調査で31mg/ℓが検出され、規制値を1mg/ℓ上回りました。この主な要因は、食堂の食器類に付着した食用油が通常以上に流出したものと考えられます。この結果を踏まえ、洗浄前の食器類の拭き取りを行うなどの処置を講じました。